

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-134594(P2006-134594A)

【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2006-020

【出願番号】特願2004-319236(P2004-319236)

【国際特許分類】

**F 2 1 V 8/00 (2006.01)**

**G 0 2 B 6/00 (2006.01)**

**G 0 2 F 1/13357 (2006.01)**

**F 2 1 Y 103/00 (2006.01)**

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 E

F 2 1 V 8/00 6 0 1 A

G 0 2 B 6/00 3 3 1

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月29日(2007.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光入射端面及び光出射面並びに該光出射面の反対側の裏面を有しており、該裏面には前記光入射端面と交差する方向に延びた複数のレンズ列が並列に形成されている面光源装置用導光体であって、

前記光入射端面の側の少なくとも1つの隅部の端面は凸曲面状に形成され且つ粗面化されており、

前記光出射面には前記隅部から前記光入射端面に対して斜めに延びる粗面化領域が形成されており、該粗面化領域は前記光出射面のその他の粗面化領域より大きな平均傾斜角をもつことを特徴とする面光源装置用導光体。

【請求項2】

光入射端面及び光出射面並びに該光出射面の反対側の裏面を有しており、該裏面には前記光入射端面と交差する方向に延びた複数のレンズ列が並列に形成されている面光源装置用導光体であって、

前記光入射端面の側の少なくとも1つの隅部の端面は凸曲面状に形成され且つ粗面化されていることを特徴とする面光源装置用導光体。

【請求項3】

光入射端面及び光出射面並びに該光出射面の反対側の裏面を有しており、該裏面には前記光入射端面と交差する方向に延びた複数のレンズ列が並列に形成されている面光源装置用導光体であって、

前記光出射面には前記隅部から前記光入射端面に対して斜めに延びる粗面化領域が形成されており、該粗面化領域は前記光出射面のその他の粗面化領域より大きな平均傾斜角をもつことを特徴とする面光源装置用導光体。

**【請求項 4】**

前記隅部端面に隣接する導光体の側端面は、少なくとも前記隅部端面に隣接する領域が粗面化されていることを特徴とする、請求項1または2に記載の面光源装置用導光体。

**【請求項 5】**

請求項1～4のいずれかに記載の面光源装置用導光体と、該導光体の前記光入射端面に対向するように該光入射端面に沿って配置された線状の一次光源とを備えており、該一次光源は前記導光体の隅部に対応して位置する非発光部を備えていることを特徴とする面光源装置。